



擁書樓日記十一

26
5756
11



門 又 0
號 5756
卷 11

文化十五年

正月

二月

三月

四月



擁書倉日記

十一

平四年正月
高田早苗

雜書倉日記 文化十一年 戊寅

正月 甲寅 大

元日晴つちのれををむ木書始
うあふひまひけいあそふ
申のそめりけいあそふ
伊勢方書るる中原をを
年利と出る所よりりえ山崎
二日晴 伊勢ををわん多利と
三日晴 伊勢ををわん多利と

四日晴 浮舟とともなふれよん
五日晴 浮舟とともなふれよん
由多ふがうり
六日晴 ち浮舟とともなふれよん
はとやうる井半所いやや丑
西あさやうり
七日晴 小舟為仲 弘賢まうり
とやうる古舟あふり
八日晴 弘賢まうり 浮舟とともなふれよん
舟考古舟とともなふれよん

九日晴 赤浮舟とともなふれよん
十日晴 浮舟とともなふれよん
十一日晴 立廻法は西なるまうり
十二日晴 赤浮舟とともなふれよん
十三日晴 赤浮舟とともなふれよん
十四日晴 赤浮舟とともなふれよん
十五日晴 赤浮舟とともなふれよん
十六日晴 赤浮舟とともなふれよん
十七日晴 赤浮舟とともなふれよん
十八日晴 赤浮舟とともなふれよん
十九日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十一日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十二日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十三日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十四日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十五日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十六日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十七日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十八日晴 赤浮舟とともなふれよん
二十九日晴 赤浮舟とともなふれよん
三十日晴 赤浮舟とともなふれよん

あやしくいぢのうらひはあつとまを
まへに梅子籠をまわし

あつとまをわくとまへにまをれと
人をもあつとまの梅子

十六日暗い町をまわつとまの
月もあつとまをうらひまをれと
私のれ

あつとまをわくとまへにまをれと
あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

あつとまをわくとまへにまをれと

廿一日晴お田いせよすし〜知
賢主よりいせよすし〜

廿二日雨お田いせよすし〜知
いせよすし〜

廿三日雨お田いせよすし〜知
いせよすし〜

廿四日晴お田いせよすし〜知
いせよすし〜

廿五日雨お田いせよすし〜知
いせよすし〜

いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜
お田いせよすし〜

岩文鼎
北馬
打井節

お田いせよすし〜

永井栄安
小谷三徳父子
浪余令之衣ハ
滋形草心之方
立洞法河
中山平比高
竹内善斎
本回格序
正中子幹
中お佛堂

大石千歳
小竹茂伸
打物乃之けん子
岩成幸也
村山強市暢
三多友之老之天子
嶋岡山鳥
古沢子おきり
安原孝之印
子持也いる気 兼門人一人

又會つらん

廿一日晴き高畑を原へて居る一
節脚すしづく 橋原東三平又
あつたきしづく 高畑お金別る高畑
お中田お金老なりしづくらん
廿二日晴しづく 高畑お金別る高畑
お中田お金老なりしづくらん
廿三日雨赤海老の船中お金老
お中田お金老なりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん

山崎まのりしづくらん

廿四日雨お中田お金老なりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん

廿五日雨或晴山崎まのりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん

廿六日大雨お中田お金老なりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん
お中田お金老なりしづくらん

Handwritten text on the left page, possibly a signature or name, written vertically.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, located at the top of the page.

力西 翁 子 德 州 一 人 在 此

Main body of handwritten text in a cursive script, containing several lines of characters with some red markings.

Small handwritten characters or a signature located at the bottom left of the page.

